



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社クラウドワークス 上場取引所 東
コード番号 3900 URL <https://crowdworks.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 浩一郎
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 月井 貴紹 (TEL) 03(6450)2926
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の連結業績（2023年10月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)※	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	4,077	37.0	1,839	31.7	346	53.6	433	54.6
2023年9月期第1四半期	2,977	20.7	1,396	27.4	225	△25.8	280	△12.8

(注) 包括利益 2024年9月期第1四半期 216百万円 (28.5%) 2023年9月期第1四半期 168百万円 (△21.4%)

	経常利益		親会社株主に帰属 する四半期純利益		1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
2024年9月期第1四半期	356	62.1	213	43.0	13.78		13.66	
2023年9月期第1四半期	219	△30.3	149	△30.4	9.79		9.58	

※EBITDA (Non-GAAP) は、財務会計上の数値 (GAAP、日本基準) から非経常項目やその他特定の調整項目を一定のルールに基づいて控除もしくは調整したものであり、当社グループの恒常的な経営成績を理解するために有用な情報と判断しております。具体的には、株式報酬費用、減価償却費及びのれん償却費を中心に、当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	
2024年9月期第1四半期	10,617		6,189		55.2	
2023年9月期	9,995		6,039		57.9	

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 5,864百万円 2023年9月期 5,784百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年9月期	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 -	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2024年9月期	-	-	-	-	-
2024年9月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の連結業績予想（2023年10月1日～2024年9月30日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		売上総利益		営業利益		EBITDA (Non-GAAP)		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	15,860	20.1	7,370	20.0	1,270	10.1	1,570	10.5	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社ユウクリ、除外 1社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	15,521,060株	2023年9月期	15,509,960株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	124株	2023年9月期	124株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	15,517,762株	2023年9月期1Q	15,281,026株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	9
継続企業の前提に関する重要事象等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、本書提出日現在において判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスによる社会活動の制約が緩和され、国内経済の正常化が進む一方で、資源価格の高騰や物価上昇などにより、先行きは依然として不透明な状況が続いています。

当社グループを取り巻く事業環境においては、日本の構造的な人手不足による企業における採用難や、それからなる企業の生産性向上及びコスト削減を目的としたデジタル化及びデジタル人材の外部登用、また物価上昇に伴う家計リスクの増大に起因する新たな収入源確保の動きがより一層活発に見られています。政府は労働移動の円滑化を目的として、企業における副業者や兼業者の活用を推進する施策を実行し、またフリーランスを企業と同じ「独立した意思のある存在」として認める特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律が2024年秋頃までを目途に施行される見込みです。コロナ禍以降の企業や個人の働き方に関する価値観の多様化が見られています。

こうした流れは当社グループにとって追い風であり、2023年12月末時点で登録ユーザー数は606.2万人（前年同期比+63.1万人）、登録クライアント数は95.6万社（前年同期比+8.1万社）となりました。

当社グループは「個のためのインフラになる」というミッションのもと、中期経営目標「YOSHIDA300」の実現に向け、既存事業の拡大並びにM&Aの推進、またSaaS事業を含む新規事業の拡大に注力しています。

既存事業の軸であるマッチング事業においては、企業のIT人材の獲得競争が激化し、週3～4日稼働のフリーランスニーズや業務のデジタル化ニーズが増える中、当社では認定ワーカー制度によるワーカー単価の向上や、アカウントセールス体制強化による1社あたりの契約単価の向上に努めています。具体的には、企業の生産性向上の悩みに沿ってプロジェクトマネージャー等の高度人材から作業担当者まで、幅広い提案を行いました。また、当社自身が長年行ってきた生産性向上の事例を踏まえながら経営改善やDX推進への取り組みを支援しました。

SaaS事業「クラウドログ」においては、今般の人的資本経営の機運の高まりにより、組織やプロジェクトにおける工数管理と生産性見える化ニーズが高まったことで、大企業や成長企業を中心に導入が進んでいます。このため、引き続き大企業の開拓に努めています。ニーズに寄り添った機能改善を継続的に行うことで、既存顧客からのアップセルの獲得や解約率低下を図りました。

M&Aにおいては、当社のマッチング事業及びSaaS事業との親和性が高い事業への投資を規律をもって進めています。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高4,077,806千円（前年同期比37.0%増）、売上総利益1,839,516千円（前年同期比31.7%増）、営業利益は346,094千円（前年同期比53.6%増）、EBITDA（Non-GAAP）433,737千円（前年同期比54.6%増）、経常利益は356,267千円（前年同期比62.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は213,860千円（前年同期比43.0%増）となりました。

セグメント業績については、次のとおりであります。

① マッチング事業

取引額の総額を示すGMV（流通取引総額）は6,775,178千円（前年同期比26.1%増）、売上高は3,911,989千円（前年同期比35.4%増）、売上総利益は1,677,063千円（前年同期比28.1%増）、セグメント利益は351,174千円（前年同期比17.2%増）となりました。

② ビジネス向けSaaS事業

売上高及び売上総利益は144,016千円（前年同期比63.8%増）、セグメント損失は23,517千円（前年同期のセグメント損失は74,222千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は10,617,996千円となり、対前期末比622,975千円増加いたしました。

流動資産は対前期末比で667,415千円の増加となり、その主な内訳は、現金及び預金が293,761千円、売掛金が205,430千円増加したものであります。固定資産は対前期末比で44,439千円の減少となり、その主な内訳は、のれんが238,229千円増加したものの、投資その他の資産のその他に含まれる投資有価証券が262,907千円減少したものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は4,428,340千円となり、対前期末比472,376千円増加いたしました。

流動負債は対前期末比で338,803千円の増加となり、その主な内訳は、未払金が65,619千円、未払法人税等が38,010千円、預り金が70,020千円、契約負債が24,255千円増加したものであります。固定負債は対前期末比で133,572千円の増加となり、その主な内訳は、長期借入金が81,917千円増加したものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は6,189,655千円となり、対前期末比150,599千円増加いたしました。

純資産の増加の主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益213,860千円の計上及び資本剰余金が98,213千円減少したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月9日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,734,898	6,028,659
売掛金	1,100,600	1,306,031
未収入金	971,553	963,376
営業投資有価証券	38,549	38,236
その他	78,264	251,338
貸倒引当金	△20,254	△16,616
流動資産合計	7,903,611	8,571,026
固定資産		
有形固定資産	62,815	57,545
無形固定資産		
のれん	1,239,952	1,478,182
その他	10,290	7,745
無形固定資産合計	1,250,243	1,485,928
投資その他の資産		
その他	784,703	509,945
貸倒引当金	△6,352	△6,448
投資その他の資産合計	778,351	503,497
固定資産合計	2,091,409	2,046,970
資産合計	9,995,020	10,617,996
負債の部		
流動負債		
短期借入金	533,716	532,596
未払金	1,028,110	1,093,730
未払法人税等	127,167	165,178
契約負債	429,884	454,140
預り金	1,227,298	1,297,318
その他	393,748	535,765
流動負債合計	3,739,925	4,078,728
固定負債		
長期借入金	163,189	245,106
その他	52,850	104,506
固定負債合計	216,039	349,612
負債合計	3,955,964	4,428,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,751,307	2,758,909
資本剰余金	2,709,307	2,611,093
利益剰余金	298,273	468,702
自己株式	△169	△169
株主資本合計	5,758,718	5,838,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,690	25,811
その他の包括利益累計額合計	25,690	25,811
新株予約権	231,102	243,123
非支配株主持分	23,545	82,186
純資産合計	6,039,056	6,189,655
負債純資産合計	9,995,020	10,617,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	2,977,513	4,077,806
売上原価	1,580,607	2,238,289
売上総利益	1,396,905	1,839,516
販売費及び一般管理費	1,171,585	1,493,422
営業利益	225,320	346,094
営業外収益		
預り金失効益	10,344	17,871
その他	1,092	3,207
営業外収益合計	11,437	21,078
営業外費用		
持分法による投資損失	7,105	—
為替差損	9,607	8,370
その他	326	2,535
営業外費用合計	17,039	10,906
経常利益	219,717	356,267
特別利益		
新株予約権戻入益	—	11,438
特別利益合計	—	11,438
税金等調整前四半期純利益	219,717	367,706
法人税等	70,163	151,006
四半期純利益	149,554	216,699
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	2,839
親会社株主に帰属する四半期純利益	149,554	213,860

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	149,554	216,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,158	121
その他の包括利益合計	19,158	121
四半期包括利益	168,713	216,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	168,713	213,981
非支配株主に係る四半期包括利益	—	2,839

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	517,268	—	517,268	—	—	517,268
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	2,372,301	87,944	2,460,245	—	—	2,460,245
顧客との契約から生じる収益	2,889,569	87,944	2,977,513	—	—	2,977,513
その他の収益	—	—	—	—	—	—
(1) 外部顧客への売上高	2,889,569	87,944	2,977,513	—	—	2,977,513
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,889,569	87,944	2,977,513	—	—	2,977,513
セグメント利益又は損失(△)	299,543	△74,222	225,320	—	—	225,320

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、Peaceful Morning株式会社の全株式を取得し、同社を完全子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては136,965千円でありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マッチング	ビジネス向け SaaS	計			
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	570,113	6,650	576,763	—	—	576,763
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	3,341,875	137,366	3,479,242	4,618	—	3,483,860
顧客との契約から生じる収益	3,911,989	144,016	4,056,005	4,618	—	4,060,624
その他の収益	—	—	—	17,182	—	17,182
(1) 外部顧客への売上高	3,911,989	144,016	4,056,005	21,800	—	4,077,806
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	52	52	—	△52	—
計	3,911,989	144,068	4,056,058	21,800	△52	4,077,806
セグメント利益又は損失(△)	351,174	△23,517	327,657	18,437	—	346,094

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規開発事業等を含んでおりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

マッチング事業セグメントにおいて、株式会社ユウクリの株式を取得し、同社を子会社化しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては169,016千円であります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。